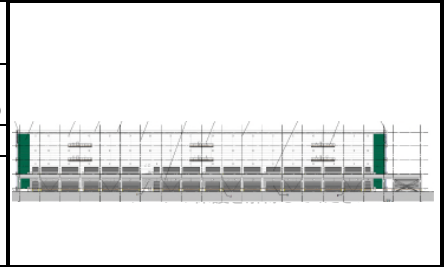


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉北物流施設建設計画	階数	地上4F
建設地	千葉県千葉市稲毛区六方町154番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年12月14日
敷地面積	32,745 m ²	作成者	定森淳一
建築面積	20,882 m ²	確認日	2021年12月15日
延床面積	69,698 m ²	確認者	清水達矢



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 室内環境、サービス性能への配慮。 エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。 敷地外環境への配慮。 	その他 0
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> 吸音への配慮・照度への配慮・内装材への配慮・禁煙の制御 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 緑地、高木の設置
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 高性能断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に努めている LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている 集中検針設備の設置等、モニタリング性能への配慮 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 省エネ性能に配慮し、地球温暖化防止に努めている ガス設備設置無し等、大気汚染防止に努めている 交通負荷抑制に努めている
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> 広さ感への配慮・リフレッシュスペースの確保・制振性能への配慮・耐用年数の長い給排水配管を採用・階高、壁長さ比率、荷重等、空間のゆとりへの配慮 	
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> 節水性能への配慮・部材を再利用可能とする取り組みを行っている フロンハロンの回避に努めている 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される